



カンボジア  
中央カルダモン森林保全プロジェクト  
現地からのお便り（2023年7月～2024年6月）

2024年8月  
コンサベーション・インターナショナル



カルダモン山地の風景 © Conservation International/photo by David Emmett

### 中央カルダモン山地国立公園における10年間の取り組み成果

ダイキンプロジェクトの活動は10年目を迎え、昨年度が最終年となりました。この10年間に  
おける中央カルダモン山地国立公園における成果は、以下のとおりです。

- 6つのレンジャーステーションが資金面でも技術面でも継続的にサポートされ、中央カルダ  
モンランドスケープの保全を効果的に進めることに繋がった
- 中央カルダモン山地国立公園で初めてとなる体系的な生物多様性調査が実施され、108種の  
野生動物が確認された

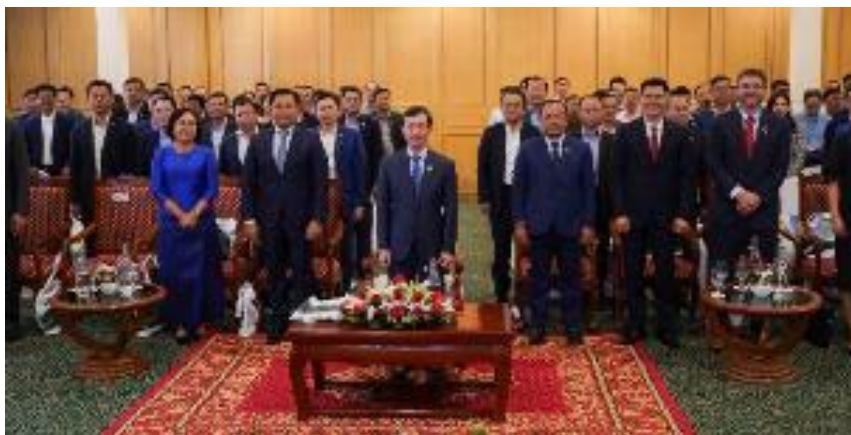
- 中央カルダモン REDD+プロジェクトが形成、開始した
- 対象地コミュニティにおいて、地域住民の生計向上活動が複数形成された
- 数多くのメディアで中央カルダモンランドスケープの生物多様性の豊かさおよび重要性が取り上げられた
- プロジェクトで関わったカンボジアスタッフおよび学生が、保全専門家としての能力を向上させた
- 長期的な保全の資金源として、プロジェクトの支援により中央カルダモン山地国立公園のトラス基金が設立された

## 昨年度（2023-2024）の活動

### 中央カルダモン REDD+プロジェクトの開始

昨年度は REDD+プロジェクトが正式に開始し、立ち上げ式には環境省ほか、プロジェクトドナー及び主要ステークホルダー総計 145 人（うち 16 人女性）が参加しました。

この REDD+プロジェクトは、ダイキンプロジェクトにより組織強化や能力向上に取り組んできた政府の森林保全体制を基盤に実施され、今後もダイキンプロジェクトで支援してきたレンジャー達による森林パトロールなどを継続して行っていく予定です。



中央カルダモン REDD+プロジェクト立ち上げ式

## 生物多様性調査の実施

これまで中央カルダモン山地国立公園では体系的な生物多様性調査が一度も実施されたことがありませんでしたが、昨年度初めて調査が行われました。

調査では 143 のカメラトラップを設置して、計 23,038 日/カメラにわたる夜間撮影を行いました。その結果、22,197 回野生生物の映像および撮影データから、108 種の野生生物の姿が確認され、絶滅危惧種カテゴリーでは、深刻な危機（Critically endangered）が 1 種、危機（Endangered）が 5 種、危急（Vulnerable）が 13 種、準絶滅危惧（Near threatened）が 4 種、低懸念（Least concern）が 85 種に分類されます。調査チームはこのうち、88 種から 114 の eDNA サンプルを採取しました。

## 生計向上活動（レモングラスオイル）

Tatey Leu コミュニティでは、レモングラスオイルの商業化に向けた能力向上研修を実施し、コミュニティの生産者グループは、商業化に向けて必要な知識を身に着けました。

また、プロジェクトからのサポートも伴って、レモングラスオイル生産者グループはこれまで 1 リットル当たり 120US ドルでオイルを仲買人に販売していたところ<sup>1</sup>、値段交渉を行って今年は 1 リットル当たり 150US ドルまで引き上げることに成功しました。



レモングラス生産者グループ向けの研修

<sup>1</sup>現地基準で非常に低い価格と考えられます

### 生計向上活動（ネイチャーポジティブ市場強化支援）

Koh Kong 県の 3 コミュニティ、8 村を対象とした、ネイチャーポジティブ市場強化のためのコンサルテーションが実施され、バナナ、養鶏、レモングラスの持続可能な市場形成や、会計管理に関する対話が行われ、計 95 人（女性 60 人、男性 35 人）が参加しました。このコンサルテーションから得たフィードバックは、今後コミュニティの持続可能な生計向上活動に反映されていく予定です。

### 生計向上活動（村の基金グループ）

昨年度は Mongri、Tropoung pong の 2 つの準村で、4 つの基金グループが立ち上がり、計 71 人（女性 50 人、男性 21 人）のメンバーが参加しました。これらの基金では村およびコミュニティレベルでの法的拘束力のある内部規約が形成され、基金参加や支援を受ける条件が定められました。プロジェクトは基金グループに対して、必要な物質的支援を行いました。

2024 年 6 月 19-20 日にかけては、基金グループの円滑な運営に向けて会計管理研修が行われ、11 人の運営メンバー（女性 8 人、男性 3 人）が参加しました。また、来年度にはトンレサッププログラムで実施されている基金グループへの視察訪問を計画しています。



基金グループを対象とした会計管理研修

### トラストファンド

昨年度はトラストファンドの資金は活用せず、利息分も運用に回すことで将来的な資金源の確保に努めています。